

# .....大岡越前祭 神輿パレード.....

日時:2018年4月22日(日) 天候:晴れ 18000歩 約13Km

集合:JR茅ヶ崎駅 10時

コース:茅ヶ崎駅→巖島神社→東海道左富士→鶴嶺神社→中央公園→神輿パレード→サザンビーチ→茅ヶ崎駅(解散)

参加者:高橋文(L) 勅使河原(SL) 佐藤伊 吉越 神谷 平石 熊坂 大平 小野里 青松秀 佐藤繁 小林 河野  
伊藤美 小島 山川 市村 志村 桑原 木村 山田 長廣 赤須 島 脇坂 岩元 計26名

「茅ヶ崎」と言ってもまず浮かぶのは、サザンオールスターズと加山雄三でしょうか？ところが、あの大岡越前が茅ヶ崎と所縁があったとは・・・今日はその大岡越前祭神輿パレードの見学ウォークとなりました。昨日からの夏日は今日も健在、朝から日差しが照りつけ、おまけに風もないので青空も霞み気味で、写真も何となく眠たい色合いとなってしまいました！ここ茅ヶ崎は、KWCの「お祭り男」高橋Lの“縄張り”でもあって、この日は意気込みが違いました！集合時間前には全員が揃い早めに出発。ほど近い巖島神社でストレッチ&コース説明後、住宅街をクネクネ歩き、鳥井戸橋袂の「東海道左富士の碑」から富士を仰ぎ見る・・・予定でしたが、霞んでいて僅かに頂上付近が見えただけ。東海道を渡ると鶴嶺神社の松並木の参道が続いています。本殿に参拝後ランチ場所の中央公園に向かいましたが、園内には多くの露店が出ていて、そこから立ちのぼる良い匂いが・・・立錫の余地もない混雑ぶりに、人混みを避け奥の木陰に移動、そこでランチタイムとしました。食後はお待ちかねのパレード見学ですが、待たされ過ぎで疲れた頃、やっと神輿が見えて来ました。各連の神輿が駅前通りを練り歩き、祭りムードは最高潮・・・駅南側でも鼓笛隊のパレード等があって、この日の茅ヶ崎は祭りムード一色でした。砂に足を取られながらのサザンビーチは、シーズンインを前にすでに若者たちの天国。海岸からは「雄三通り」を茅ヶ崎駅南口まで戻り、改札前で解散となりました。高橋Lはじめ参加された皆さん、暑い中お疲れ様でした！

<フォトレポート 小島>



サザンビーチ・茅ヶ崎サザンCのモニュメント前で全員集合。沖ではサーフィンを楽しむ若者たちの姿も。



茅ヶ崎駅改札前で。指定時刻前には全員集合。



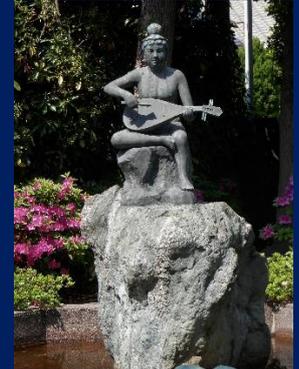
この頃はまだ人出も少なかったのですが・・・



ほど近い巖島神社に入ります。



まずは今日一日の無事を祈願。



これ弁財天？



駐車場で熊坂さんのストレッチから。



高橋し用意のガイドマップで本日のコース説明。



暫し住宅街を歩きます。



丁度ツツジが満開のお宅が。



え？左右はお墓なんですが・・・



東海道に出ました。千ノ川の鳥井戸橋です。



ここが東海道左富士。画面右上にかすかに富士が！



左富士の碑。



鳥井戸橋も富士山を模したのかも。



もうまったり系？これからですよ！



赤い鳥居は鶴嶺神社への入り口。



この参道、松並木が760mほど続いています。



雑念を払って歩きましょう！（恨めしそうな・・・）



太鼓橋の先にはまた鳥居が。ここから境内？



茅ヶ崎とは思えない石灯籠が建ち並び松並木の参道。



参拝の“大行列”。この日の賽銭箱は満杯だったかも！



< 鶴嶺神社本殿前で全員集合。狭い階段に左右から挟まれて窮屈そう・・・(でも皆さんスリムに写って良かった?) >

●鶴嶺神社：平安時代の終わり頃ともいわれる起源をもつ古社。「八幡大菩薩佐塚大明神両社之記録」という文書に、戦乱により荒廃した神社を復興した別当寺常光員院の上人朝恵が、江戸時代はじめ(1650年頃)に東海道(現国道一号)までの約420間(約760m)に松を植え、参道を整備したとある。参道は史跡に、松並木は天然記念物に指定されている。参道は、発掘調査により現道路面下に数段階の古参道面が確認されている。また現存する松並木には、もとより当時の松はないが、時代ごとに補植が繰り返され、往時の面影を偲ぶ松並木の景観を今に伝えている。(茅ヶ崎市HPより抜粋)



神社を出てイオン前を中央公園に向かいます。



本日初の上りです。ここを下りればランチ場所。



緑溢れる中央公園に到着。園内は如何に？



予想通りあちこちに露天が並び良い匂いが・・・



ランチタイム。新緑に包まれてお弁当もランクアップされました！？



一本の木を三人で・・・



木陰の“ランチ会場”全景。



すでに食後のウシが二頭出現！



さあ午後の部スタート。いよいよ祭神輿だ〜



地下歩道をくぐる。本日二度目の上り階段。



駅前道路を封鎖してパレード到着を待ちます。



かなり待たされてやっと見えた数々の神輿連。



子供から高齢者まで、神輿を見ると血が騒ぐのは日本の伝統が成せる技か！



どれも見事な神輿です。



駅前には粋なハッピー姿で埋まりました！



高橋も勇壮な神輿パレードに祭り男の血が騒ぐ！



最後の神輿が角を曲がって・・・また来年。再見！



とそこへ時ならぬサイレンの音。救急車と消防車が到着！男性が一人運ばれて行きました。何があったのか？

●大岡越前祭：大岡氏は、相模国高座郡堤村(神奈川県茅ヶ崎市堤)を治めていた一族であり、宝暦元年(1751年)の大岡氏の第5代当主大岡忠相の死後、1911年(明治44年)に従四位が贈られ、翌年の1912年(大正元年)11月19日に浄見寺境内の忠相の墓前で、贈位祭が行なわれた。これが大岡祭の始まりである。その後は関東大震災や、戦争等で一時的に中断していたが、1956年(昭和31年)に大岡越前祭と改称して再開した。毎年4月中旬の土曜と日曜の2日間(但し統一地方選挙が執行される年は、4月下旬～5月初旬の大型連休時)に、大岡忠相の遺徳を偲んで行なわれる。土曜日は大岡家累代の菩提寺である浄見寺で盛大な墓前法要と地元住民による地元まつりが実施され、日曜日は茅ヶ崎駅周辺を行列(パトナール、鼓笛隊、木遣り、稚児行列、手古舞、越前行列、御輿)がパレードをする。(Webサイトより抜粋)



神輿が行ってしまい急に気が抜けた(?)メンバー。



一旦茅ヶ崎駅に戻ってここから海を目指すことに。



駅を越えて南側へ。後続が遅い・食べ過ぎか？



「若い子が来た！」の聲にカメラを向けたが若すぎだ！



「高砂通り」を歩き茅ヶ崎公園先から海に出ました。



砂に足を取られながらサザンビーチへ向かいます。



サザンビーチ「茅ヶ崎サザンC」(平成14年完成)



沖には磯釣りで知られる烏帽子岩が霞んで・・・



夏にはこのビーチが若者で埋まる。



海と言えばカモメ。でもカラスが！



ビーチにはカップルが似合う。



海岸を後に「雄三通り」を駅に向かいます。



横道に入った所でつまずき転倒者が！（傷害保険適用？）



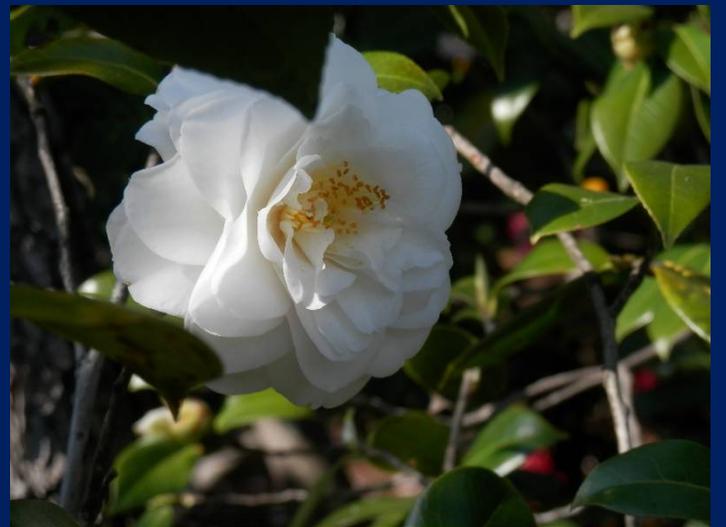
気を取り直して「氷室椿庭園」を見学。



椿は盛期を過ぎていましたがツツジが満開。



残りの椿が何株も見られました。（この花の名は「熊坂」）



白い椿もなかなか清楚で品がありますね。



さすが茅ヶ崎、閑静な住宅街も。



暑い一日が終わろうとしています。



※朝スタートした茅ヶ崎駅に戻ってきました。

海が近いので、てっきり涼しいウォークかと思っていましたが残念ながら裏切られました！これまで駅周辺しか知らなかった茅ヶ崎にも意外な歴史があったとは・・・分からないものです。

また神輿と言えば、どれも同じにしか見えない“素人”の私には、良く見るとそれぞれ微妙な違いがあることも勉強になりました。

これから秋まで各地で伝統的な祭りが行われますが、これを機に少しは神輿にも興味を持ちたいと思っています。

来月の例会も大磯で神輿見物ですよ～！

←高橋Lお疲れ様でした。